

ほゆう

会報 78号

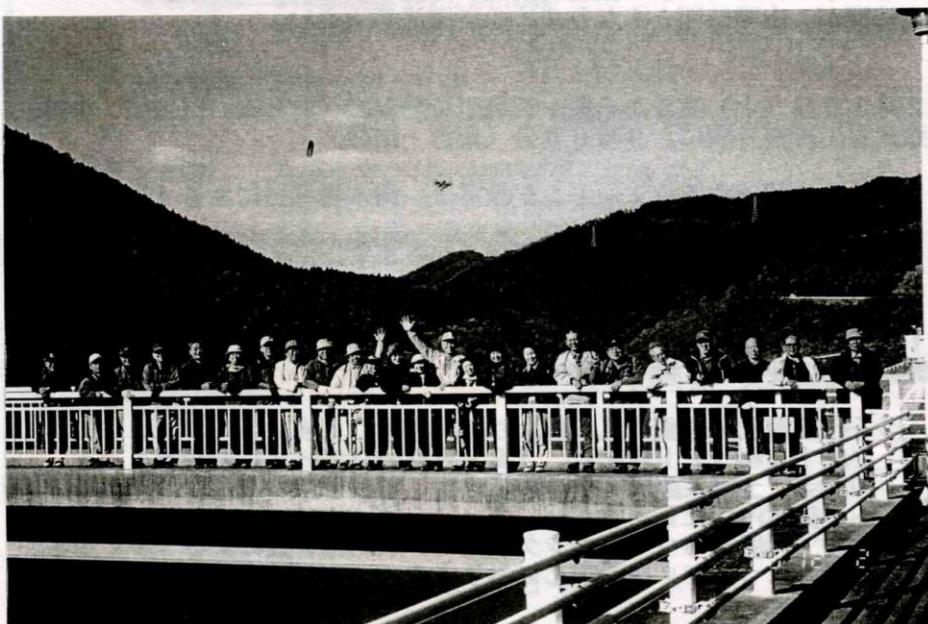
平成12年(2000)12月例会時発行

〒277-0835 柏市松ヶ崎1194-222

北総歩こう会事務局

☎ 090-3345-8750

<行事報告 一 紅葉と湯けむりのいわき市四時川一泊ハイク>



宿泊予定のグリーンロッジ四時に50名の仮予約をして早くから募集をかけたがなかなか人が集まらなかった。

第一回の下見は3月31に古宮事務局長の車に便乗して現地調査を行なった。2回目は暑いさかりの8/19~20日に本番を想定しての最終下見であった。

人が予定どおり集まらない。ロツジとしては部屋を空けるわけにはいかないから必死である。私との電話やFAXのやり取りは10数回におよぶ。出発の当日である12/2日からJRの時刻表が変わり勝田乗り換えを水戸乗り換えに変更する電話連絡に前夜まで追われてやっと迎えた本番であった。

天候は2日間とも晴天に恵まれ、紅葉は少々遅かった感はあるもののまだまだ見ごたえ十分であり、芽吹きの早春も来て見たい景色であった。

現地の「マラソンランナーの里づくり」推進委員会の板津委員長には2日間にわたり案内役をしていただき紙面を借りてお礼申し上げたい。全員が無事電車に乗り帰りの車中も盛り上がったようである。

行事担当 和田武年

ふぁみりーウォーク

誰でも自由に参加できますが、参加費（100円）をいただきます。
約2時間程度（約6～8km位）のウォーキングを、のんびりと楽しみながら
コース途中では皆様の参考になればと「ウォーキング教室」も開催します。
是非一度、お友達と誘い合わせておでかけ下さい。

※この行事に参加する場合、事前の申し込み（連絡）等は必要はありません。
「ふぁみりーウォーク」の集合時間は、毎回午前9時00分です。
集合時間が、出発時間ともなりますので御注意下さい。

☆ 12月16日（土）逆井から鎌ヶ谷周辺を訪ねて、約8km。（担当 小林）
東武野田線逆井駅に、9時00分（集合・出発）

⇒途中で開催するウォーキング教室は、清水指導員による「歩く時の
準備品について」です。
解散場所は、東武野田線六実駅となります。

☆ ²⁰ 1月16日（土）松戸・流山の七福神、約8km。（担当 小林）
鹿島神社に9時00分（集合・出発）

⇒千代田線北小金駅改札口前より御案内致します。
平成13年（21世紀）、「ふぁみりーウォーク」の初歩きです。
円能寺・土屋長屋門等を訪ね歩いて、解散予定の流山駅（流山電鉄）
へと御案内いたします。
途中で開催するウォーキング教室は、成川指導員による「歩く速さ、
歩幅等について」を予定しております。

☆ 2月17日（土）高柳方面に！ 約 km。（担当 中山）

☆ 3月17日（土）我孫子の田園風景を訪ねて、約8km。（担当 小林）
JR我孫子駅に9時00分（集合・出発）

◎開催日には、下車駅の改札口付近で御案内を致します。
安心してお出かけ下さい。

※問合せ先 090-3345-8750（古宮）

市毛良枝さんをご案内して

12.10.30

和田 武年

高崎だるまマーチの出発準備に忙しい10/13の午後、黒河内会長から要旨次のような電話が入った。「急な話なんだが、北緯歩こう会が市毛良枝さんを案内して、房総風土記の丘周辺を歩いてくれないか。」和田…「市毛良枝って誰だ?」会長…「今度発行されたウォーキングという雑誌を見ててくれ。そこに出ているような事を案内するだけだ。細かい事は講談社の磯野と言う記者と打合せしてくれ。」和田…「風土記の丘周辺が詳しい人は利根町の林さんだが、案内は二人で問題ないか?」会長…「問題ない。後は宜しく頼む」こんなやり取りで電話を切った。その後、林さんに電話を入れて協力依頼をしてから、講談社の磯野記者(女性)と打合せをした。「歩くテーマ・距離・時間そしていつ下見をするか?本番の日をいつにするか?私は10/23~10/26が空いているので市毛良枝さんのスケジュールと調整してくれ」とたのんだ。とにかく金曜日の午後の話で、来週の予定を立てるのだから忙しかったが、磯野記者もカメラマンとの調整がついてその日の夜に、下見は10/19と決まった。

10/14日、だるまマーチを林さんと一緒に歩きながら、「林さん、俺、市毛さんで知らないなーって言つたら女房が『あんた、男が一番、お嫁さんしたい女性のNo.1に選ばれた女優よ』と言つたが知っていたか?」と聞くと「俺も知らなかつたが、女房は知つていたよ」と言つていた。また、磯野記者が「机上のプランだが、利根川の新川水門あたりと風土記の丘をつないでもらえないか、市毛さんと写真を撮りながら歩くので距離は数キロまでにしてほしい」と言つていた事を伝えた。林さんは「そのコースは距離的にとても無理なので別に川と水門をいれたコースを俺が作ろう。」と約束してくれて10/18に二人だけの下見をすることにした。

10/18日 安食駅で林さんと合流して、長門川の酒直水門~龍角寺~風土記の丘までのコースを2往復して、「これでよし」というコースを完成させた。時間が有つたので磯野記者要望のコースを龍角寺~新川水門~龍正院~滑川駅まで歩いてみた。15kmと距離は長いがとても良い歩く道であった。

10/19日 磯野記者・菊池カメラマンそして我々二人の計四人は、成田線直通の電車で安食駅に降りた。駅前で弁当を仕入れて、我々の作ったコースを案内した。カメラマンは白さぎやレンコンの収穫風景など、おしげもなくフィルムを使っていた。市毛さんにどこに立つもらうかなども決めていたようである。下総松崎駅で別れた。

10/23日 どんよりと曇っていた空から冷たい雨が落ちてきた。出かけるのは気が重かったが、磯野記者に頼まれていた喫茶店・食事場所を探しに車で出かける。コース近くに3か所、手頃なところを見つけて店名と電話番号をFAXした。

10/25日 本番の日である。朝から天気が悪い。磯野記者から「午前中、市毛さんに撮影が入つて時間の確定ができないが、12時頃には車で出発できると思うので携帯電話を持って、13時までに安食駅にいて下さい」という連絡が入る。我々は12時に駅に着いて缶コーヒーを飲んでいると、携帯に連絡が入る間もなく車が着いた。市毛さんはスタイルの女性と同行しており、車の中で着替えて降りてきた。小柄な可愛らしい女性だ。雨も上がり天気はいまいちだが、そこはカメラマンの腕に任せることにして、予定のコースに出発した。コースの様子については、ウォーキングマガジン2001年1月号に掲載される、「市毛良枝の『里に発見伝』千葉県房総風土記の丘」にお任せしたい。市毛さんとは、ニュージランドやキリマンジャロに行った経験談や環境問題などについて、雑談したがなかなか見識の有る方だと思った。No.1 古墳の前で一緒に記念写真を撮らせてもらい、学習院初等科正堂前で16時にお別れした。「一緒にコーヒーでも飲める時間が有るかな?」と期待したが残念だった。協力して戴いた林さんお疲れ様でした。ありがとう。

おわり

月例会の案内板

☆1月例会 21世紀新年ウォーク「本塙村・白鳥の飛来地に」

開催日：平成13年1月14日（日）、10km

- ・集合場所：駅前商店内の公園広場
成田線小林駅下車徒歩2分、改札口前より案内あり
- ・集合時間：午前9時30分
我孫子駅での、乗換え時間等に御注意願います。
- ・その他：お昼までには小林駅に戻ってきます。
お弁当の用意は、各自で判断してください。
また、白鳥の飛来地では「甘酒」のサービスがあります、コップの用意をお願いします。

(W担当者 大神智恵子)

☆2月例会 定期総会&総会ウォーク

開催日：平成13年2月25日（日）、10km

- ・集合場所：東武野田線 野田市駅
- ・集合時間：午前9時00分
- ・その他：総会終了後、キッコーマン醤油の工場見学等を含む
野田市内のウォーキングを楽しみます。
解散は、梅郷駅に15時30分頃の予定。

(W担当者 中山 弘)

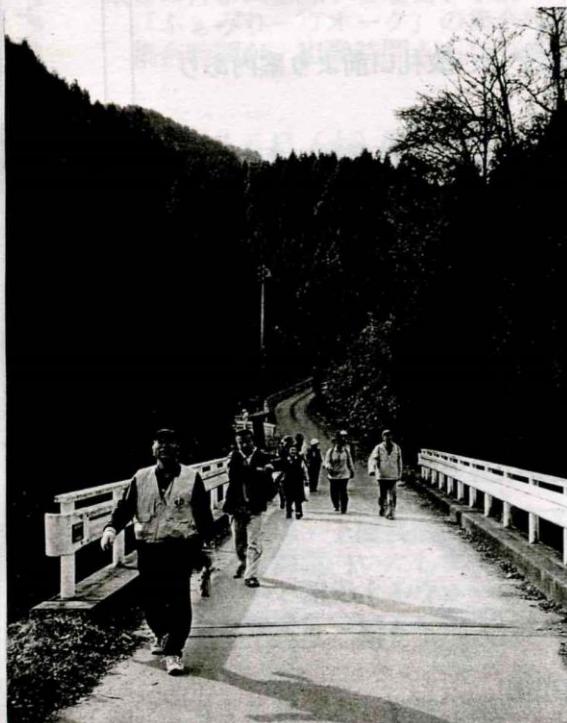
☆詳細は次号「あるけ新聞」か事務局へ！

『県外ウォークに参加して』

まず今回の県外宿泊ウォークを企画・実施を担当された役員の皆さんに、御礼申し上げます。

12月2~3日にかけて、福島県いわき市田人町「グリーンロッジ四時」をベースに行われた北縦歩こう会の行事に参加し、のんびり二日間を過ごし、久しぶりにリフレッシュする事ができました。

郷では、紅葉も終わり木枯らし舞う冬が、もう直ぐそこに来つつある今日この頃ですが、今回行事の目的地いわき市田人町は、好天に恵まれ、喧騒のない静かな里歩きを満喫する事ができました。



四時ダムから四時川渓谷にかけてのウォーキングでは、コース沿いの景観の見事さに眼を見張る想いの連続でした。時期的には、一週間~10日間程前であれば、もっと色鮮やかな紅葉に出会う事ができたのではと、ちょっと残念な思いもしましたが、その想いは次回の企画に生かして頂ければと思います。

今回の参加者は24名と、当初の呼びかけの約半分でしたが、私も含めた参加者からは景観のすばらしさに感嘆の声が挙がっていました。

会員の皆さん、次回の県外宿泊行事には競って参加し、「自然と純朴さが残る里」歩きを満喫しましょう。

埼玉県加須市在住会員

餘多分 正敏

<ウォーキングマナー・5ヶ条>

- 1条：『やあ！お早よう』
明るい挨拶さわやかに
- 2条：『信号で』
慌てず、焦らず、待つ余裕
- 3条：『ひろがるな』
参加者だけの道じゃない
- 4条：『自分のゴミ』
自分の責任もち帰り
- 5条：『歩かせて』
いただく土地に感謝して

<編集後記>

今回の旅行では、久しぶりに「楽しいお酒」を飲ませていただきました。露天風呂に入って眺めた紅葉も大変素晴らしいものでした。たまには良いものですね。

残りあと僅かで、新しい年「21世紀」を迎える事になります。短い一生の中で「世紀をまたぐ」瞬間に立ち会える喜びを、何処で味わう事になるのか、実は楽しみにしています。皆様は「新しい年・21世紀」を、何処で迎えますか。